

神經變性疾患研究室

神経変性疾患研究室

A. 論文

A-① 原著

1. Yoshiyama Y, Tokumaru Y, Arai K: Flexion-induced cervical myelopathy associated with fewer elastic fibers and thickening in the posterior dura mater. J Neurol 257: 149-151, 2010.

A-② 著書

吉山容正：一目でわかるニューロサイエンス 第2版 服部孝道監訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 東京 p98-105, 108-121, 131-133, 2009.

A-③ 総説

吉山容正：専門医へのコンサルトー私のタイミングとコツーものわすれ 内科 104: 1157-1164, 2009

B. 学会発表

B-② 国内学会

新井公人、吉山容正、石川千恵子、伊藤喜美子：筋萎縮性側索硬化症における Bunina 小体とオートファジーの関連について 第50回日本神経学会総会, 2009/5 仙台

吉山容正、石川千恵子、伊藤喜美子、新井公人：神経伝達物質アセチルコリンは神経変性を抑制する：タウモデルマウスを用いた検討 第50回日本神経学会総会, 2009/5 仙台

柏戸孝一、吉山容正：早期発見・早期治療に向けた認知症診断支援システム 第28回日本認知症研究会, 2009/11 仙台

C. 講演会

1. 吉山容正・「Experience sharing(治験実施経験の報告)」AAB-001 Investigator's Meeting での講師・2009/6/13・大阪

2. 吉山容正・「Experience sharing(治験実施経験の報告)」AAB-001 Investigator's Meeting での講師・2009/6/14・東京

3. 吉山容正・第1回花見川・八千代認知症勉強会での講師・2009/7/1・千葉

4. 吉山容正・長生認知症研究会での講師・2009/10/27・千葉
5. 吉山容正・認知症研究会市民公開講座での講師・2009/11/14・千葉
6. 吉山容正・市原認知症フォーラムでの講師・2009/11/17・千葉
7. 吉山容正・長生認知症研究会での講師・2010/2/24・千葉
8. 吉山容正・千葉市医師会認知症研究会での講師・2010/3/11・千葉
9. 加藤麻美、中村和代、米川敦子、吉山容正、新井公人、木村登紀子（2009. 6. 29）筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への心理的支援の取り組み 第1回国立病院機構関東信越ブロック 神経・筋疾患ネットワーク研究会，埼玉
10. 加藤麻美、伊藤喜美子、早川省、吉山容正、新井公人（2009. 12. 12）筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への心理的支援の取り組み 第1197回千葉医学会例会，千葉

F. その他

Yoshiyama: Message from Dr. Yoshiyama, Principal Investigator, Japan in Bapineuzumab Newsletter Sep. 2009

治験

1. SUN Y7017（メマンチン塩酸塩）の高度アルツハイマー型痴呆に対する長期試験
2. SPM962 の L-dopa 非併用パーキンソン病患者を対象としたプラセボ対照試験（検証的試験）
3. SPM962 の L-dopa 非併用パーキンソン病患者を対象とした第 II/III 相試験(243-07-001) の継続長期投与試験
4. E0302 の筋萎縮性側索硬化症に対する臨床第 II/III 相試験
5. E0302 の筋萎縮性側索硬化症に対する長期試験
6. ENA713D/ONO-2540 経皮吸収型製剤 1 日 1 回のアルツハイマー型認知症患者 (MMSE10-20) に対する有効性、安全性、認容性について評価する 24 週間投与、多施設共同、無作為割付、プラセボ対照、二重盲検平行群間比較、用量設定試験、および付随する 52 週間非盲検継続投与試験
7. E2020 のレビー小体型認知症（DLB）を対象とした二重盲検比較試験-臨床第 II 相

8. E2020 のレビー小体型認知症 (DLB) を対象とした継続長期投与試験
9. A Phase 3, Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Parallel-Group Efficacy and Safety Trial of Bapineuzumab (AAB-001, ELN115727) in Subjects With Mild to Moderate Alzheimer Disease Who Are Apolipoprotein E ϵ 4 Carriers [アポリポタンパク E ϵ 4 を有する軽度～中等度のアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の有効性及び安全性を検討する第 3 相, 多施設共同, 無作為化, 二重盲検, プラセボ対照, 並行群間試験]
10. Ropinirole PR/XR錠のL-dopa製剤併用のパーキンソン病患者に対する臨床評価
11. SPM962 の L-dopa 併用下パーキンソン病患者を対象としたプラセボ及びロピニロールを対象とした二重盲検 3 群間比較試験
12. SPM962 の L-dopa 併用下パーキンソン病患者を対象とした第 III 相試験 (243-08-001) の継続長期投与試験
13. 軽度から中等度のアルツハイマー型認知症外来患者を対象とした 3 用量の SAM-531 を 52 週間投与した時の有効性及び安全性を評価する, 2 期, 多施設共同, 無作為化, 二重盲検, ドネペジル塩酸塩参照, プラセボ対照比較試験
14. A Phase 3, Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Parallel-Group Efficacy and Safety Trial of Bapineuzumab (AAB-001, ELN115727) in Subjects With Mild to Moderate Alzheimer Disease Who Are Apolipoprotein E ϵ 4 Non-carriers [アポリポタンパク E ϵ 4 を有さない軽度～中等度のアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の有効性及び安全性を検討する第 3 相, 多施設共同, 無作為化, 二重盲検, プラセボ対照, 並行群間試験]
15. KW-6500 第III相臨床試験 (パーキンソン病患者を対象とした長期の在宅自己注射における安全性試験)

共同研究

1. 課題名：軽度認知機能障害 (MCI) から初期アルツハイマー病に移行する際の客観的な指標と基準値を探るための共同試験 (J-ADNI : Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative)

主任研究者名：東京大学 井原康夫

共同研究者名：吉山容正